

News Letter

Vol. 5

2022年3月発行

このニュースレターでは学生達の活躍、講義や実習の様子、学科の取り組み、動物豆知識などを紹介します。獣医保健看護学科に興味を持ってくれた高校生の皆さんとのコミュニケーションツールになればと思っています。

快挙！ 難関の実験動物1級技術者試験に1期生6名が合格！

獣医保健看護学科は、公益社団法人 日本実験動物協会の特例認定校に指定されており、指定された科目の単位を取得することで実験動物1級技術者試験を受験することができます。資格取得に向けた自主ゼミによる勉強会、学内のWeb学習支援システムを活用した自習環境の整備、実験動物技術指導員資格を持った教員による実技対策研修会など、本学科では資格取得に向けてのサポート体制を整えています。

この実験動物1級技術者試験は、学科試験と実技試験（学科試験合格者対象）に合格することが必要です。学科試験と実技試験の平均合格率はともに60%台であり、両試験に合格する平均合格率は30～40%という、難しい資格試験です。

学科試験に合格した1期生7名（8名が受験し、7名が合格）のうち、6名が実技試験に合格しました。さらに、大学生の受験者の中から成績優秀者トップ3が表彰されるのですが、本学科の石野葉月さんが2位という優秀な成績を取めました。

資格試験合格体験記

【4年 石野葉月】

私は実験動物1級技術者試験の合格を目指す有志で結成したサークルであるSLAT（Senior Laboratory Animal Technician（実験動物1級技術者の英語表記）よりサークル名を名付けた）の仲間と勉強してきました。過去問を繰り返し解き、問題を出し合うことで教科書を覚えていき、仲間と一緒に合格することができたときは本当に嬉しかったです。

実際に動物に触れて手技を練習するときは思うようにいかないことばかりで悔しく、学校生活と資格の勉強を両立するのは大変でした。しかし、私以上に頑張っている仲間の姿に励まされ、あきらめずに勉強を継続することができました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で実技試験の方法が変更になり、前例がないことだったのでどのような問題が出題されるかわからず勉強の仕方も悩みました。しかし、先生方や仲間と問題を予想して準備をしていました。

合格をすることができたのは授業や実習で習ったことを大学の実験動物センターで実践する機会もあり、先生方が手技を手取り足取り教えてくださったおかげです。実験動物センター関係者の皆様、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからみんな進路が分かれますが、資格合格のため共に努力した日々を忘れず、それぞれの道で励んでいこうと思います。

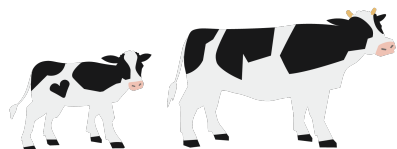


1期生の卒業研究発表会開催

2021年11月27日（土）に1期生の卒業研究発表会が開催されました。動物看護分野 6演題、ライフサイエンス分野 7演題、産業動物分野 3演題、公衆衛生・野生動物分野 9演題の計25演題の発表となりました。コロナ禍で研究活動が非常に困難であったにもかかわらず、29名が取り組んだ卒業研究の成果は、VPP（獣医関連専門家）としての多様性と専門性に富んだものでした。

産業動物

- 一酪農家における搾乳牛の乳頭口スコアと体細胞数との関係
- 3酪農家における飼育環境と牛体衛生スコア
- 一酪農家における牛舎内の温湿度指数および暑さ指数と乳量・乳質・繁殖成績との関係



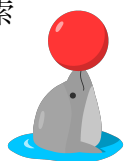
動物看護

- 犬の玩具 一サイトのランキングから見る人気調査
- 血中乳酸脱水素酵素測定法の国際標準化にともなうホルスタイン種搾乳牛での活性値について
- ノーズワークを利用したイヌのQOL 向上への取り組み
- 静脈内留置カテーテル固定によるMDRPU 予防に関する基礎的研究
- 静脈輸液に対する加圧式医薬品注入器の有用性の検討
- イヌのCHRNA5遺伝子の解析方法の樹立



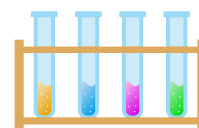
公衆衛生・野生動物

- 赤身魚の鮮度測定ー核酸関連化合物及びヒスタミンを指標としてー
- 白身魚の鮮度測定
- イルカの給餌飼料の鮮度評価に関する研究
- 飼育下イルカの行動様式と唾液アミラーゼによるストレスマーカーの有用性評価
- 両後肢に屈腱弛緩を有して誕生したアミメキリンの行動解析
- 伯方島イノシシの住肉胞子虫感染状況の検索
- 伯方島猫イノシシ体毛の安定同位体比を用いた食性調査の基礎的検討
- 地域猫の健康状態の把握
- 水産資源域に飛来する野鳥が保有する薬剤耐性菌の検索



ライフサイエンス

- BioID 法を用いた平滑筋細胞の増殖を制御する新規ホスファターゼ調節タンパク質PHI-1の研究
- シナイモリ (*Cynops orientalis*) 鼻腔の糖鎖発現に関するレクチン組織化学研究
- 愛媛県の離島で分離されたネコカリシウイルスの遺伝子解析
- ウサギを用いた抗菌性骨補填材の有用性評価
- 樹脂製ケージトップを用いたマウスのケージ嗜好性
- マルチモーダル鎮痛法を用いた外科的処置後マウスの疼痛管理
- マウスを用いた外科処置に使用する麻酔薬の適切な選択に関する研究



発行元 岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科

お問い合わせ先

〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3

TEL（代表）：0898-52-9000

